2019 VVIニュースレター冬号

1. ごあいさつ

2．第63回CWAJ現代版画展・ハンズ・オン・アートの報告

3. 11月16日（土）ECGの報告

4. お知らせ

5. 編集後記

CWAJ = College Women’s Association of Japan VVI = Volunteers for the Visually Impaired（視覚障がい者との交流の会） HoA = Hands-on Art (ハンズ・オン・アート)　ECG = English Conversation Gathering（英会話の集い）SVI = Scholarship for the Visually Impaired（視覚障害学生奨学金）

* 1．ごあいさつ

すっかり寒くなりましたが、皆様、お元気でしょうか？

台風15号や19号での災害は甚大で、被災された方々のことを思うと心が痛みます。カリフォルニアの山火事は年々拡大し、氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響が観測され始めています。地球温暖化を誰もが考えなければならないと思います。今年もCOP 25がマドリードでこれから開かれます。COPとは気候変動枠組条約締約国会議（Conference of Parties）の略称ですが、会場ではスウェーデンの環境活動家少女のグレタ・トゥーンベリさんの意見や活動も期待されます。皆様も自分ひとりでも何が出来るか考えてみてくださいね。

さて、いよいよ今年最後のVVI Newsletterの発行の時期になりました。例年のCWAJ 現代版画展におけるHoAの報告、ECGからの報告はパラリンピック・レジェンド河合純一（かわい　じゅんいち）さんのお話についてとサウンドテーブルテニスの体験談、パラアスリート応援ソング「リアルビクトリー」の英語版を紹介しましたが、どうぞ英語ソングをゆっくりと、じっくりとお読みくださいませ。また大胡田誠（おおごだ　まこと）さんの法律事務所の開設のお知らせを載せました。ではどうぞ冬号をお楽しみくださいませ。

* 2．第63回CWAJ現代版画展Hands-on Art 報告

深刻な被害を各地に及ぼした台風19号が去り、なんとか落ち着きを取り戻した10月23日、第63回CWAJ現代版画展が開催されました。今年も、代官山のヒルサイドテラスを会場に、200点を越える版画作品が展示され、お客様のご来場を待ちました。予定では22日に始まることになっていましたが、今年は天皇陛下即位の礼の休日になりましたので、翌23日からの公開になりましたが、Hands-on Artは、いつものように金曜日25日から、1階フォーラムの一角にテーブルが置かれ、皆さんのご来場を待ちました。

今年は5つの作品が、HoAの立体コピーに選ばれましたが、それらの作品のオリジナルの版画は、全てこのフォーラムの中に展示されましたので、立体コピーを鑑賞した後、または鑑賞しながら、オリジナルの版画を鑑賞する皆さんの姿がありました。

今年選ばれた作品は；

1．「幻想街道五十三次-蒲原」（Fifty-three stages of the Fantasy-Kambara）

波磨悠子（はま　ゆうこ）作　エッチング・アクアチント・ドライポイント

2．「茶運び人形」（Tea Serving Doll） 廣田雷風(ひろた　らいふう)作　リノリウムカット

3．「翔べ不二 III」（Take off, Mt. Fuji！ III）河内成幸（かわち　せいこう）作

木版水性摺り凸版摺り

4．「Dream of Bear 5」高橋（たかはし）キョウシロウ作　ドライポイント・コラグラフ

5．「ねぶた競演」（Nebuta Parade）田中正秋（たなか　まさあき）作　シルクスクリーン

それぞれ、色彩と図柄の美しさ、明快さなどの視点で選ばれた作品ですが、ボランティアのメンバーも、参加の皆さんも、事前に作家のコメントを読んで、いわば‘予習’をして、当日の鑑賞に臨まれました。金曜日から日曜日までの3日間に来場された皆さんは14名で、昨年より少なくなりましたが、今年は、ハンズ・オン・アートの鑑賞のほか、特別に勉強し準備したメンバーによるドーセントツアーに参加して、より多くの作品をより深く鑑賞することもできました。初日から最終日まで、一般のお客様も多数ハンズ・オン・アートのテーブルに注目して下さいました。ボランティアはこのユニークな活動自体の説明にも、忙しい時間を過ごしました。

来年もこの活動は、版画展の魅力のひとつとして、新しい作品とアイディアで、皆さんをお待ちしています。どうぞご期待ください。

以下は来場された方々からの感想の一部です。

毎年、ハンズ・オン・アートを楽しみにしているので今年も参加できてとてもうれしかったです。

版画制作者の方々には、それぞれに、いろいろなこだわりがあることが判って興味深く感じました。

初めてのHoAは想像以上に盛大で、一点一点説明をしていただきながら、ゆっくり拝見することができ、しばし、せわしない日常から抜け出して作者の表現したかったものをハートで鑑賞させていただくことができました。

作家の方、事前準備に奔走してくださった方、当日温かいおもてなしをして下さった方、皆様に心より感謝申し上げます。

HoAの恩恵を受けて誰かの人生が大きく変わるなんて、私までワクワクしています。

初めて見る発想豊かな作品の数々について説明をしていただけるのは、私達に

とって大変有り難い事でした。楽しかったです。

会場で外国人メンバーの方から版画について説明を受け、英語の勉強になりま

した。また、絵を楽しむことができて、よかったです。

第63回現代版画展とハンズ・オン・アート、お疲れさまでした。ありがとうご

ざいました。

帰りにいただいた「しおり」のTHANK YOUの文字を点字で読んで、すごく胸に迫るものがありました。

第63回ＣＷＡＪ現代版画展、ハンズ・オン・アート担当

岡（おか）マリ子、石井（いしい）ふみ子

* 3．11月16日(土曜日)ECGの報告

「パラリンピックアスリートから聞くパワーフレーズ」

CWAJ設立70周年の今年、第2回目のECGは11月16日土曜日、パラリンピックをテーマに、パラリンピック水泳のレジェンド河合純一（かわい　じゅんいち）さんをお招きし、講演およびサウンドテーブルテニス体験を筑波大学附属視覚特別支援学校体育館で開催しました。当イベント準備にあたっては同学校の多大なるご協力をいただきました。

CWAJは長年筑波大学附属視覚特別支援学校とご縁があり、英検準備のための英語面接のボランティアを行っているほか、同校出身のCWAJ奨学金受賞者も多数輩出しています。

この企画の目的は、2020東京オリンピック・パラリンピック開催を目前に、パラリンピックを盛り上げると同時に、同校卒業生でもある偉大なアスリートのお話から、障害に負けない生き方を学び、また障害者スポーツを身近に感じていただく機会を作ろうというものです。

さらに今回は筑波大学附属視覚特別支援学校の生徒さんやアメリカンスクール（ASIJ）の高校生も参加して、晴眼者と視覚障害者の交流からバリアフリー社会推進の一助になればという意図がありました。

河合さんは、5歳から水泳を始め、視力を失った17歳の時に、1992年バルセロナパラリンピックに出場、以後6大会で金メダル5個を含む計21個のメダルを獲得。 2003年に日本パラリンピアンズ協会を発足させ会長に就任。2016年には、IPC(国際パラリンピック委員会)設立以来、日本人初のパラリンピック殿堂入りを果たすなど、パラリンピックのレジェンドと呼ばれています。現在はスポーツ庁2020オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議委員も務め、来年のパラリンピックの成功にむけ忙しい日々を過ごされています。

ご挨拶で握手をしたとき、パワフルに私の手を握り、快活な話し方をなさるので強いアスリートの資質をひしひしと感じました。

河合さんの講演は日本語で、それをCWAJの会員でもありプロの通訳者である高松珠子（たかまつ　たまこ）さんが国際会議レベルの通訳をし、バイリンガルで行われました。

河合さんの話のなかで印象的だったのは、強いアスリートになるには、例えば2時間のトレーニングプログラムをどう組むか、ということより、毎日自分を律して規則正しく努力し、そしてその努力は他の人と同じでは勝てない、という言葉でした。イチローがアメリカに渡って大きな記録を作るアスリートになったのも、同じように日々ひたむきで厳しいルーティンを継続したからといわれています。偉大なアスリートに共通する、才能に磨きをかける努力をしてこられたことに頭が下がりました。

2020パラリンピックは8月25日開会式です。チケットはオリンピックに比べて若干手頃な価格で購入可能であるので、日本人選手やファイナルばかりでなく世界中の選手を応援して会場を満員にしてほしいと河合さんから話がありました。それは河合さんが17才で初めてバルセロナ大会に出場した際、日本人の河合さんを観衆が大声援し、そのことがその後の21個のメダル獲得へつながったからと語っています。是非皆さんもチケットを購入して会場へ足を運びませんか？

講演の後に、筑波大学附属視覚特別支援学校の体育教諭指導によるサウンドテーブルテニス（STT）体験をしました。これは通常のピンポンボールより少し大き目で音のするボールを、ラバーのついていないラケットでうちあうものです。STTは日本発祥のスポーツですが、視覚障害ばかりでなく認知症や病気のリハビリなどにも使われているそうです。

ASIJの生徒は目隠しをして、見えない世界でのスポーツがどういうものか体験しました。この体験は後日学校の課外活動として青山学院大学で発表するそうです。

今回のECG参加者は68名（VI friends 12、ガイドヘルパー 2、Tsukuba 22、ASIJ 14、CWAJ メンバー 18）でした。

参加者から寄せられた感想です。

有意義で楽しいイベントでした。

金メダルに触れるなど一生のうち二度とない経験もできました。

講演会の内容は素晴らしく、また横で同時通訳されている様子を拝見して

感嘆していました。サウンドテーブルテニスもとても楽しかったです。

なかなかヒアリング・スピーキングができませんが。いい刺激ができました。

言っていることは分かるけれども、言いたいことが口から出てこないもどかしさがあります。アメリカンスクールの生徒さん達ともっとお話ができれば良かったです。

あっという間に2019年も残すところあとわずかになりました。また来年もCWAJのイベントを楽しみにしていてください。

CWAJ Director of Education, VVI-ECG Coordinator　髙橋美都子（たかはし　みつこ）

★　4．お知らせ:その1

2018年秋号のインタビュー記事で取り上げた栗山龍太（くりやま　りょうた）さんのパラアスリート応援ソング「リアルビクトリー」の英語版が出来ました。シンガーソングライター目黒寿安（めぐろ　じゅあん）さん英訳の歌詞はつぎのとおりです。

The Real Victory　　　　Translated by Juan Meguro

The sun scorches in silence as you run.

And your sweat casts your stories on the ground.

Your tears freeze and shatter in the harsh winter's cold.

Sometimes the seasons come to test your soul.

You've gone through tough times and now you are here

Standing tall to show us who you are.

Now, turn all those cheers into your courage.

And fly high into the sky.

Set your heart on fire.

Can you feel the heat?

Oh yeah, that's your real victory.

You can lead us with your passion in your heart.

You can give us the strength to carry on.

When we get on the mark.

We feel our heartbeat.

Oh yeah that's our real victory.

Keep on running to your destination.

In your hands the victory shall be.

Sometimes a loss of light may seem hopeless.

Yet one can still dream beyond the darkness.

There is no limit if you can just believe

That the new days will bring bright new dreams.

You've aimed high for the promises you've made.

And you've overcome each challenge that you've faced.

The goal is just ahead, we see you glowing bright.

And you've lit our hearts all these time.

All of your family and friends are behind you.

Just follow the path that you believe in.

No matter how high the mountain.

No matter where you start.

The peak you reach is all the same.

Light your heart on fire.

Can you feel the heat?

Oh yeah, that's your real victory.

When you fall you can always spring right back again.

'Cos you have the strength in your heart.

When we get on the mark.

We feel our heartbeat.

Oh yeah that's our real victory.

Keep on running to your destination.

In your hands the victory shall be.

Now's the time we honor each other.

Let us celebrate our real victory.

英語版と日本語版はYouTubeでお聞きになれます。

英語: <https://www.youtube.com/watch?v=KMH4miDwTbc>

日本語: <https://www.youtube.com/watch?v=gEf6-6v_n0c>

お知らせ:その2

2005年度CWAJ・SVIスカラーで弁護士の大胡田誠（おおごだ　まこと）さんが、６年間勤務してきた「つくし総合法律事務所」を退職し、本年９月２日に「おおごだ法律事務所」を開設しました。

以下は大胡田さんからのメッセージです。

「つくし法律事務所」では、竹下義樹（たけした　よしき）先生の指導のもと、様々な事件処理を通じて弁護士としての経験を深めるとともに、多くのご縁をいただき、とても充実した日々を過ごさせていただきました。これも、ひとえに皆様の温かいご支援とご厚情の賜物と心より感謝しております。 事務所経営について未経験の私にとりまして、この度の独立開業は闇夜に船を出すような思いですが、盲目の詩人、明石海人（あかし　かいじん）の有名な詩にある、「深海に生きる魚族のように、自らが燃えなければ何処にも光はない。」との覚悟で一層の精進を重ねる所存です。

皆様への感謝を忘れず、依頼者を法律的にも精神的にも力強く支えることのできる

法律事務所を目指してまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

[新事務所]

事務所名：おおごだ法律事務所

住所：〒108-0071 東京都港区白金台5-22-11　ソフトタウン白金502号室

電話：03-6456-4987（よく話そう）

FAX：03-6456-4986

メール：[oogoda@oogoda-law.jp](mailto:oogoda@oogoda-law.jp)

URL： <https://oogoda-law.jp/>

お知らせ:その3

来年度からニュースレター編集者が古田映子（ふるた　えいこ）から安原理恵（やすはら　りえ）に代わります。

以下、新エディターのご挨拶です。

2020年春号より、VVIニュースレターの編集を担当させて頂くことになりました、安

原理恵（やすはら　りえ）と申します。このニュースレターをお読み下さっている方々

の中には、お会いしたことがある方もいらっしゃると思います。私は、2007年のCWAJ視覚障害学生国内奨学金の奨学生でした。大学卒業後CWAJに入会し、今までVVIニュースレターの発行に一部関わってきましたが、この度、編集を担当させて頂くことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

* 5．編集後記

皆様、VVIニュースレターの編集担当を2年間させていただきましたが、本当に楽しい意義ある仕事でした。いつも視覚障害の皆様のことを思い描くと、勇気と知恵と楽しさが込み上げてきます。インタビューでは視覚障害の方の生の声でお話を聴くと、一人一人の人生全体が伝わってきて感動を覚えます。インタビューを終えてから、編集をする時には涙が止まらないこともありました。来年からの編集者の安原理恵（やすはら　りえ）さんは、聡明で語ったり書いたりする言葉が美しく、言葉に対する感受性の優れた方です。どうぞ皆様よろしくお願いいたします。寒さが厳しくなりますが、皆様お身体ご自愛の上、益々のご活躍をお祈り申し上げます。2年間のお付き合いをありがとうございました。

　古田映子（ふるた　えいこ）

CWAJ の HP は、下記のとおりです。ニュースレターでお知らせする企画も詳しく載っておりますので、ご覧ください。 <http://www.cwaj.org/>

ニュースレターに関する皆さまのご感想、ご意見、ご要望なども、ぜひお聞か

せください！

パソコンをご利用の方で、メールでのニュースレターの受け取りをご希望の方

も、下記にご連絡下さい。

(連絡先) [VolunteersVI@cwaj.org](mailto:VolunteersVI@cwaj.org)

Newsletter Editor（編集担当）：古田映子（ふるた　えいこ）

Distributor（発送担当)：本村理子（もとむら　みちこ）